

マーケットの動き（2025年1月27日～1月31日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で下落（円高）しました。
週初は、中国企業が発表した低コストAIが米国AI関連企業の脅威になるとの見方からリスク回避姿勢が強まり、米国長期金利が低下したことを受け、日米金利差縮小による円買い・米ドル売りが優勢となりました。その後、カナダとメキシコに25%、中国に10%の追加関税を課することが発表されるとインフレへの警戒感から円売り・米ドル買いが優勢となり、下落幅を縮めて週を終えました。
ユーロは前週末比、対円・対米ドルで下落しました。

投資環境見通し（2025年1月）

円に対して米ドルは堅調に推移、ユーロはレンジ内で推移

米ドル：米国次期政権の政策期待から米国景気の底堅さがみられる中、FRB（米国連邦準備制度理事会）はすでに利下げペースの鈍化を示したこともあり、ドルは円に対して堅調に推移するとみています。

ユーロ：ECB（欧州中央銀行）による追加利下げ観測とともに、日銀による利上げ時期が後ずれするとの見方もあり、ユーロは円に対してレンジ内で推移するとみています。

	1月31日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	154.85	▲0.87	▲2.31	4.39	8.67
ユーロ/円	160.97	▲2.81	▲1.76	▲1.84	2.19

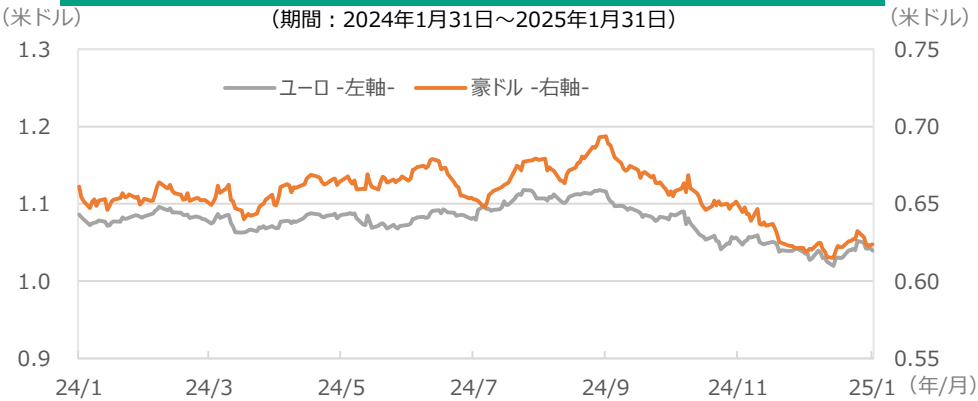
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202501_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>